



- ◎ 地域医療支援病院
- ◎ 地域がん診療連携拠点病院
- ◎ 病院機能評価認定病院
- ◎ 臨床研修指定病院

第25号 平成29年1月1日発行



『新春のご挨拶』

福島労災病院

院長 渡辺 毅



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当院の主たるミッションは、①いわき市民のための急性期の高度医療の提供、②地域医療連携の中核病院及び地域包括ケアの後方支援病院として地域医療への貢献、③労働災害・職業性疾患に対する医療の提供、と考えています。これらのミッションを適切に果たしていく上で、短期的には当院で現在縮小または閉鎖されている診療科の充実・再開による診療の質と量の向上及び経営の安定が必要と考えています。昨年におきましては大きなトラブルもなく比較的順調に診療を行うことが出来ましたが、患者数、手術数、救急車受入数などの指標については、一昨年の整形外科縮小による低下を取り戻せず、前年度と比較しても若干下回るものと予測されます。ただし、昨今の病院の患者数減少という一般的傾向や当院の医療環境を考慮すると、職員一同の頑張りの結果とも解釈されるところです。勿論、当院の診療レベルの向上の規定因子は医療スタッフの確保です。特に当院の課題である整形外科、麻酔科、呼吸器内科、泌尿器科などの診療科の医師確保のために、私と事務局長が多くの大学を訪問しましたが、飛躍的な成果は挙げられておらず、私自身も責任を痛感しています。また、看護部長をはじめとする看護部の頑張りにも拘わらず、看護師不足も慢性的です。一方、昨年には厳格化された7：1入院基本料の算定要件を順守するために地域包括ケア病棟も設置しました。地域包括ケア病棟には、療養型病棟をもつ病院、在宅・介護施設などと連携して急性期病院として地域医療を支えるという当院の将来構想

(次ページへ続く)

～ 目 次 ～

- | | | | |
|---------------|--------|---------------|------|
| ■ 新年のご挨拶 | …P 1～2 | ■ 名誉院長瑞宝中綬章受章 | …P 6 |
| ■ 新任医師紹介&お知らせ | …P 3 | ■ 放射線治療機械表彰 | …P 7 |
| ■ 地域医療連携室だより | …P 4～5 | ■ 外来診療担当医表 | …P 8 |

(前ページより続く)

とマッチしたものとの側面もありますので、当院の将来を占うためにも重要なチャレンジとも言えます。また、昨年10月には佐々島朋美先生の着任により長らく休診となっていたリウマチ・膠原病内科が再開されるとともに、鈴木裕先生が整形外科に新たに加わり、さらに肺高血圧、血液、禁煙などの専門外来も新設し、病院の診療体制は若干の上昇機運にあるとの希望的観測を持っています。



次に、当院の長期的なビジョンとしては新病院の建設が最重要課題です。新病院の立地に関しては、当院の経営的視点からも、あるいは総合磐城共立病院と当院が内郷地区に隣接することによる、いわき市の救急・急性期医療の地域的偏在解消のためにも、さらには地域医療構想や地域包括ケアシステムを踏まえたいわき市の地域医療全体の向上のためにも、現地での建替えよりもいわき市の人口分布の中心ともいえる地域への移転が優れているものと考えております。新病院の基本コンセプトとしては、将来のいわき市の医療需要を反映したものとすべきとの考えから、ICUなどの新設とともに総合診療・救急科、脳神経外科、婦人科などの新設・再開を目指すことにより、現在とほぼ同規模の病床数を確保し、加えて、いわき市で2番目の災害拠点病院の指定も目標としています。また、新病院の具体設計に関しては、病院移転のメリットである設計の自由度や立地環境を活かし、職員の意見を最大限取り入れ、施設運用の効率性、患者・職員の利便性、運用の経済性に配

慮しつつ、患者と職員のアメニティーに富んだ施設を目指すべきと考えます。また、医療スタッフの教育と人材確保のため養成施設との協力関係を構築するとともに、新病院建設のプロセスを通じて職員の一体感が醸成されることも期待しています。この目標の最も大きな規定要因である医師・看護師不足の解消など多くの課題はありますが、職員一体となって計画を実現したいと考えています。勿論、いわき市や福島県などの行政機関、いわき市医師会をはじめとする多くの医療・福祉関係者との協力関係の構築も必須であることから、このための努力を続けたいと思います。

さまざまな指標の解析に基づくと、将来のいわき市における医療状況は必ずしも悲観的なものではないと思われ、病院の将来像や建築計画がいわき市の医療需要にマッチしたものであれば明るい未来が開けてくるものと信じております。また、新病院の建設計画を通じて、全職員が未来の夢を共有する一体感を醸成出来れば、さらに成功確率は上がると思っています。いずれにしても、努力次第で未来は開ける（必ず解決策はある）という楽観性が大切とも思っています。

本年も皆様のご交誼、ご指導、何とぞ宜しくお願い致します。



新任医師紹介



昨年10月から
当院に赴任され
た佐々島先生の
ご紹介です。

10月からリウマチ・膠原病内科に赴任しました。当院でのリウマチ・膠原病内科は、約10年ぶりの再開です。私も福島医大からの派遣で平成15年10月から1年間、当院に勤務していました。12年ぶりに皆様にお会いできることを大変嬉しく思います。その間、福島医大、岩手県立中央病院に勤務していました。

関節リウマチは、生物学的製剤の登場により治る可能性のある疾患になりました。生物学的製剤の種類も増え、病院での注射と自宅での自己注射が選択できます。膠原病は自己免疫疾患であり、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、シェーグレン症候群、血管炎、ベーチェット病等があります。いずれも厚生労働省の特定疾患に指定されており、ステロイド治療が主体となります。他にリウマチ性多発筋痛症、成人スティル病、強直性脊椎炎等も対象疾患です。

リウマチ・膠原病は症状が多彩なため、内科疾患の中でも診断が難しく、確定診断までに時間がかかることも多いです。専門医でないと診断がつかず、治療もできないことがよくあります。しかし、全国的にリウマチ・膠原病の専門医は不足しています。福島県も同様で、中でもとりわけ浜通りは少なく、これまでは福島市や郡山市等遠方の病院に通院していた患者様も多いと思います。今後は、地元で専門的治療を受けることができます。また福島医大リウマチ・膠原病内科、太田西ノ内病院リウマチ科と連携を取りながら、重症の場合は紹介、入院を依頼します。

患者様に専門性の高い、かつ安心の医療を提供できるよう、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



お知らせ

荷物用カートが設置されました！！



今年1月より入院患者さま、ご家族さま向けに、入院時のお荷物を安全に運んでいただけるよう、正面玄関に荷物用カートを設置いたしましたので、是非ご活用ください。
(貸出しを希望される方は正面玄関インフォメーションにお問い合わせください。)

地域医療連携室だより

平成28年10月5日(水)にいわきワシントンホテル椿山荘において行われました「福島労災病院病診連携協議会」及び「病診連携登録医・紹介医等の先生方と福島労災病院との合同懇談会」は院内外より100名を超える皆さまに御来場いただき大盛会となりました。病診連携協議会においては、当院の紹介・逆紹介の実績の推移などを含め病診連携登録医の状況についての報告や昨今の地域医療問題に関する議論が行われました。



循環器科 渡邊康之医師

続く講演会においては、まず10月より当院勤務となった循環器科の渡邊康之医師とリウマチ・膠原病内科の佐々島朋美医師から着任の挨拶があり、それぞれの診療科についての特色や近況についての報告がありました。



リウマチ・膠原病内科 佐々島朋美医師





循環器科主任部長 吉成和之医師



当院の診療内容等を紹介する講演が行われました。今年は当院循環器科主任部長の吉成和之医師による講演となりました。この講演を通じ、少しでも当院循環器科についてのご理解を深まったのであれば幸いです。

その後の懇親会においては、日頃よりお世話になっている先生方と直接お話しできる貴重な機会を得ることができました。日常業務では毎日のようにお世話になっている連携登録医・紹介医の先生方ですが、実際にお顔を拝見する機会はなかなかないのが実情です。この会によって少しでもお互いの親交が深まり、今後のいわき地域における医療連携がより一層緊密なものになる一助になれば幸甚に存じます。



福島労災病院 渡辺 毅院長からご挨拶



いわき市医師会 長谷川徳男会長

今後とも、当院及び当院病診連携業務へますますの御理解・御支援を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。



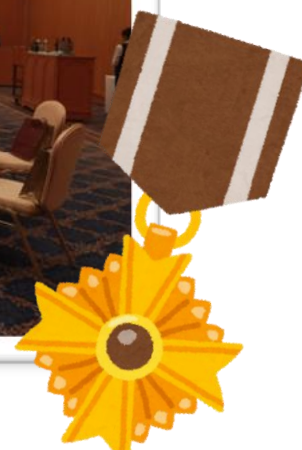
大谷巖名誉院長、瑞宝中綬章を受章



平成28年春の叙勲におきまして、当院 大谷 巖 名誉院長が「瑞宝中綬章」を受章され、9月7日にいわきワシントンホテルにおいて「大谷名誉院長の叙勲を祝う会」を開催し、当院OBと職員一同でその功績をお祝いしました。

大谷名誉院長は、福島県立医科大学において耳科学の分野で多くの病気を明らかにするなど診断、治療で多大な貢献をされるとともに、平成15年から6年間当院院長を務められ、地域医療の充実に大きな役割を果たしていただきました。

このたび名誉ある叙勲を受章されたことは、職員として大変喜ばしく感じております。私たち福島労災病院職員は、大谷名誉院長の功績に恥じぬよう、一丸となって地域医療への貢献を果たしてまいりたいと思います。



放射線治療機1000日連続稼働表彰！！



今回、放射線治療部門では、「Golden Treatment Delivery Award for 1000 days」として放射線治療装置メーカーから表彰を受けました。

簡単に言いますと、1000日間 患者さんに継続して放射線治療を提供できたということです。車が1000日故障なく動くのはよくあることですが、放射線治療装置に要求される精度は高度で、少しのエラーでも安全装置が作動して装置が動かない機構になっております。そのため1000日連続稼働というのは珍しいことで国内同一メーカー使用施設の中で3施設しか達成しておりせん。今回当院がその3施設目となりました。

今回の表彰は患者様に良き医療が提供できるよう、常日頃放射線治療部門を影から支えて頂いている当院スタッフ、装置メーカー・当院放射線治療部門スタッフが定期的に装置点検を行ってきた功績です。

がん診療は現在「手術」「化学療法」「放射線療法」が3本柱と言われており、がん診療連携拠点病院の放射線治療部門として、今後も皆さまに良き放射線治療が提供できるよう尽力して参りたいと思います。

放射線治療部門の経緯

2009年5月：現装置稼働（更新）

2011年10月：日本放射線治療専門放射線技師認定取得（1名）

2012年4月：放射線治療品質管理士認定取得（1名）

2013年10月：日本放射線治療専門放射線技師認定取得（1名）

2014年11月：放射線治療部門へ常勤看護師配置

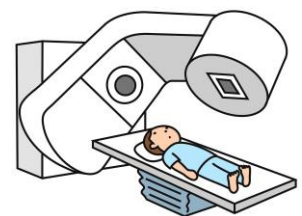
2015年6月：Golden Treatment Delivery Award for 500 days 達成

2015年4月：放射線取扱主任者を放射線治療通常業務に従事させ体制強化

2016年5月：放射線治療品質管理室設置

2016年10月：日本放射線治療専門放射線技師認定取得（1名）現在 計3名

2016年10月：Golden Treatment Delivery Award for 1000 days 達成



福島労災病院(外来診療科担当医一覧表)

平成29年1月1日現在

		月	火	水	木	金
内科	9診				本田 徹	
総合内科			渡辺 毅 (午後)	渡辺 毅	渡辺 毅 (午後)	
腎臓内科	10診	草野 裕樹 (再診のみ)	草野 裕樹		草野 裕樹 (再診のみ)	草野 裕樹
糖尿病内科	11診	岩崎 麻里子	岩崎 麻里子 (再診のみ)		岩崎 麻里子	岩崎 麻里子 (再診のみ)
リウマチ・膠原病内科	9診		佐々島 朋美 (午前:再診のみ)	佐々島 朋美 (午前:新患のみ)		佐々島 朋美 (午後:再診のみ)
血液内科			木村 悠子 10日			
腫瘍内科	1診	石塚 光	石塚 光		石塚 光	
呼吸器科	1診					
	2診	石原 俊晴	石原 俊晴	石原 俊晴	石原 俊晴	石原 俊晴
消化器科	紹介外来	松橋 暢生	田井 真弓	予約外来 (交代制)	鈴木 智浩	市井 統
	再診	鈴木 智浩	市井 統		喜田 栄作	田井 真弓
	新患	小屋 有代	喜田 栄作		松橋 暢生	入江 大樹
循環器科	1診					神 雄一朗
	3診	大楽 英明	三戸 征仁	大楽 英明 8:30~12:00 肺高血圧専門外来 第2水曜日午後・予約制	山内 宏之	大楽 英明
	4診	鈴木 重文	渡邊 康之 (午前) 山内 宏之 (午後)	鈴木 重文	渡邊 康之	鈴木 重文
	5診	吉成 和之	吉成 和之	三戸 征仁	三戸 征仁	吉成 和之
	予約制(午後のみ)				大和田 憲司	
心療内科	1診	代診(再診のみ)		代診(再診のみ)		
外科	1診	又吉 一仁	渡部 晶之	宮澤 正紹	宮澤 正紹	星野 実加
	2診	石井 恒	武藤 淳	星野 実加	大須賀 文彦	武藤 淳
	3診		大須賀 文彦	石井 恒	又吉 一仁	乳腺甲状腺外来 27日 (午前・予約制) 甲状腺内分泌専門外来 13日・20日(午前・予約制) 病診連携受け入れ不可
	4診	塩 豊 (呼吸器外科)	乳腺外来 17日 甲状腺内分泌専門外来 24日・31日 10:30~15:00	甲状腺内分泌専門外来 11日・25日 10:30~15:00	塩 豊 (呼吸器外科)	渡部 晶之
整形外科	5診	菅野 敦子	横浜労災医師 17日	菅野 敦子		菅野 敦子
	4診	鈴木 裕	鈴木 裕	鈴木 裕	鈴木 裕	
	2診		岩井 和夫 10:00~12:00	岩井 和夫 (リウマチ外科)	東京大学医師 第2・第4木曜日 13:00~17:00	岩井 和夫
皮膚科	1診				紹介・予約外来 (再診のみ)	
泌尿器科	1診	沢田 勇吾	森田 恒太郎 8:30~12:00	沢田 勇吾		沢田 勇吾
眼科	1診		鈴木 説子 鈴木 康士	鈴木 説子 福島医大医師 4日	鈴木 説子	鈴木 説子
耳鼻咽喉科	1診	鈴木 康士	10日・24日		鈴木 康士	鈴木 康士
	2診		大谷蔵(予約外来) 10日・24日		大石 剛資 19日	
リハ科	1診		岩井 和夫 8:30~10:00			
放射線科	1診			福島医大医師 11日・25日 4日・18日 10:00~ 13:00~	がん研有明病院医師 5日・12日・19日・26日	福島医大医師 13日・27日
禁煙外来	1診				齊藤 道也 12日・26日 10:00~12:00予約制	
予約検査	午前	腹部エコー・胃カメラ	腹部エコー・胃カメラ	腹部エコー・胃カメラ	腹部エコー・胃カメラ	腹部エコー・胃カメラ
	午後	大腸ファイバー	トレッドミル 大腸ファイバー	心カテ	心カテ、気管支鏡 大腸ファイバー	心カテ

消化器科 ○ 新患は原則として紹介患者様のための診察となります。
 循環器科 ○ ペースメーカークリニック(第2・4週月曜日13:00~)
 心療内科 ○ 再来患者様のための診察となります。

栄養外来 ○ 患者様は原則として、地域医療連携室(紹介)及び院内紹介のための診察となります。(16日 雨海照祥)

外科 ○ ストマークリニック(第2・4週火曜日13:00~、予約制)。 ○ 肛門外来(毎日)

〈受付時間〉 8:15~11:00 (急患の方は随時受付いたします。) 〈診察時間〉 8:30~17:00
 ※木曜日の整形外科は15:00まで受付いたします。

地域医療連携室 直通電話番号/0120-002-181(フリーダイヤル)
 診療申込み専用FAX/0120-126-610(フリーダイヤル)
 (診療申込みにて患者様をご紹介頂く場合にご利用ください。)
 ※「消化器病センター」への申し込みについては専用の申し込みが必要です。地域医療連携室へ問合せ又はホームページよりダウンロード下さい。